

## 宇都宮大学農学部附属演習林報告執筆基準

制 定 昭和52年1月19日

一部改正 平成元年2月23日

一部改正 平成11年3月17日

### 1 原稿の形式は次のとおりとする。

論文：1) 表題，2) 要旨（和文及び欧文），3) 本文，4) 引用文献，5) 図，表，写真（それぞれ別紙とし，台紙に張り付ける）

資料：1) 表題，2) 本文，3) 引用文献，4) 図，表，写真（それぞれ別紙とし，台紙に張り付ける）

表題には，和文原稿の場合，① 和文表題 ② 著者名 ③ 欧文表題 ④ 著者のローマ字書きフルネーム及び⑤ 欄外脚注を記載する。欧文原稿の場合は，③，④，①，②，⑤の順に記し，いずれの場合もページを改めて本文を書くこと。

原稿には，次の各項を記載した別表を添えること。

① 氏名 ② 表題 ③ 原稿の種類 ④ 原稿用紙の枚数 ⑤ 図，表，写真のそれぞれの数量 ⑥ 別刷の所要部数 ⑦ 連絡責任者 ⑧ その他

### 2 原稿は新かなづかいにより，学術用語以外は当用漢字を用いる。

### 3 和文原稿はワードプロセッサ等を用いて作成し，A4判の白紙に上下左右3cm程度の余白をとり，横30字×縦20行に整える。

欧文原稿はワードプロセッサまたはタイプ打ちとし，A4判の白紙に上下左右3cm程度の余白をとり，2段送りで作成する。欧文は原則として英文とする。

### 4 要旨は，原則として和文約500字以内，欧文約300字以内とする。要旨の最後に，論文内容を的確に示すキーワード（日本語及び欧語）を5語以内記載する。

### 5 継続研究の報文表題は，主題の1報，2報などの表示は（I），（II）とし，副題については(1)，(2)とする。

### 6 活字体にゴシック体を指定するときはForestryのように波線の，イタリックを指定するときはForestryのように直線のアンダーラインを朱記すること。

### 7 動物，植物の和名はカタカナで書き，学名は属，種，変種，品種部分はイタリック体で書く。

### 8 数字はアラビア数字を用い，百万，千の桁にカンマをつける。二，三などの漢数字の使用は三角形，二重結合，二三の例，などに限る。

### 9 単位は原則としてc. g. s単位系を用い，慣用となっている略字によって記載し，ピリオドはつけない。

- 10 外国の人名、地名及び欧語の用語などは原語のままとするが、慣用的に広く用いられる場合はカタカナを使用してもよい。

例：アメリカ、ポアソン比

- 11 図、表、写真は1件ごとに別紙とし、表題にはそれぞれ通し番号をつける。また、上端欄外右に、鉛筆で著者名、通し番号をつける。

- 12 図、表、写真を入れたいおよその位置を、本文原稿該当箇所の欄外右に朱記して指定する。本文中には空白を設けない。

- 13 図は印刷される大きさの約2倍大に描く。トレーシング用紙など薄手の紙を用いた場合は、必ず白色厚手台紙にはる。表題は図の下方に記載する。

- 14 表は原則として1ページに印刷できる限度以下とする。表の縦けいは原則として省き、横けいもできる限り省略する。表題は表の上方に、注は表の下方に記載する。

- 15 写真は鮮明なものをを用い、はぎとりやすい程度に台紙にはりつける。表題及び注は、台紙の下方に記載する。

- 16 引用文献は著者名のアルファベット順に配列する。共著者は全員記載すること。学術雑誌の略名は慣例による。

#### 17 引用文献の記載例

雑誌：番号) 著者名：表題、雑誌名、巻(号)、最初のページ—最後のページ(年号)の順に記載する。通年ページのある雑誌は号を省いてもよい。巻は太字とする。

例1) 井上源基：タワーヤード集材における適正索張り線密度の検討，森利学誌，13(2)，p99—110(1998)

例2) Yoshizawa, N. & Idei, T. : Comparative histochemistry of wood cell wall degradation by white-rot fungi. Bull. Utsunomiya Univ. For., 25, p23—38(1989)

単行本：番号) 著者名：書名、発行所、所在地、ページ、年号の順に記載する。編を記載する場合は発行所の前に編を入れる。

例1) 梅田三樹男・辻隆道・井上公基：標準功程表と立木評価，日本林業調査会，東京，p79—81(1982)

例2) Preston, R. D. : "The Formation of Wood in Forest Trees", Zimmermann, M. H. ed., Academic Press, New York, p12—35(1964)